教育研究業績書

2026年11月06日

所属： 教育総合研究所　　資格： 教授　　氏名： 増井　香名子

研究分野	研究内容のキーワード
女性福祉・子ども家庭福祉	ミクロ実践・DV/こども虐待・ソーシャルワーク・心理的支援
学位	最終学歴
社会福祉学博士（大阪府立大学）	大阪府立大学大学院人間社会学研究科社会福祉学専攻　博士課程修了

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書、教材		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.公認心理師国家資格 2.精神保健福祉士国家資格 3.社会福祉士国家資格		
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
4 その他		

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.『DVから子どもの安全を守るー 母親非難をやめ、父親の行動に目を向けるSafe ＆ Togetherモデル入門』 デイビッド・マンデル 著	共	2026年11月	明石書店	デイビッド・マンデル 著 増井香名子 監修・監訳 岡本正子・岩本華子・藥師寺順子・小川衛子 監訳
2.『新・社会福祉士シリーズ児童・家庭福祉（第2版）』	共	2025年3月	弘文堂	（著者）増井香名子 （担当範囲）「子ども家庭福祉サービスの実際　児童虐待」、「コラム：女性の一時保護の現場から―「暴力被害」と「生活困窮」、(215-232頁)
3.『DVと子ども虐待のソーシャルワークー実践を変革する視点と方法ー』	単	2024年11月	日本評論社	（著者）増井香名子 （概要）研究結果や多くの事例から交差するDVと子ども虐待。その本質を捉える視点とともに、支援方策を紹介した実践ガイド
4.『新・社会福祉士シリーズ　ソーシャルワーク演習（社福専門）』	共	2024年2月	弘文堂	（著者）増井香名子 （担当範囲）ドメスティック・バイオレンス、(16-19頁)
5.『新・社会福祉士シリーズ児童・家庭福祉』	共	2022年10月	弘文堂	（著　者）増井香名子 （担当範囲）全16頁 ・第4章　子ども家庭福祉サービスの実際「10. 児童虐待について」 ・コラム　児童虐待とドメスティック・バイオレンス（DV） ・コラム　女性の一時保護の現場から：「暴力被害」と「生活困窮」
6.『日本の児童相談所	共	2022年9月	明石書店	（著　者）増井香名子

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
－子ども家庭支援の現在・過去・未来』				（編　者）川松 亮・久保樹里・菅野道英・田崎みどり・田中 哲・長田淳子・中村みどり・浜田真樹 （分担執筆者）川松 亮・久保樹里・菅野道英・田崎みどり・田中 哲・長田淳子・中村みどり・浜田真他43名 （担当範囲）全6頁 第３章子ども虐待への取り組み「04ドメスティックバイオレンスと児童虐待」
7.『DV被害からの離脱・回復を支援する～被害者の「語り」にみる経験プロセス～』	単	2019年10月	ミネルヴァ書房	【日本ソーシャルワーク学会学術奨励賞受賞（2020年7月）】
8.『よくわかるスクールソーシャルワーク第2版』	共	2018年10月	ミネルヴァ書房	（編　者）山野則子・野田正人・半羽利美佳 （分担執筆者）山野則子、野田正人、半羽利美佳、野田正人、増井香名子他50名 （担当範囲）pp.86-87 「配偶者暴力相談支援センター・婦人相談所の機能」
9.『性的虐待を受けた子どもの施設ケア～児童福祉施設における生活・心理・医療 支援』	共	2017年12月	明石書店	（編　者）八木修二、岡本正子 （分担執筆者）八木修二、岡本正子、山本恒雄、薬師寺順子、増井香名子他18名 （担当範囲）pp.65-69 コラム2「DV被害者である非加害保護者への支援」
2 学位論文				
3 学術論文				
1.「DV 家庭で育つ子どもの経験と成長プロセス―若者へのインタビュー調査の分析から―」査読付	単	2025年5月	社会福祉学 66(1)	（著者名）増井香名子 【日本社会福祉学会奨励賞（論文部門）受賞（2026年）】
2.「DV サバイバーの心理的・精神的経験―心的後ストレス障害と心的外傷後成長の両者に着目し―」査読付	共	2025年2月	社会福祉学 64(４),14-29頁	（著者名）増井香名子・岩本華子・鄭丞媛
3.「米国マニュアルからみるDVケースにおける子ども福祉実践への示唆―Child Protection in Families Experiencing Domestic Violenceの変遷より―」査読付	共	2024年12月	子どもの虐待とネグレクト 25(3),354-362頁(日本子ども虐待防止学会)	（著者名）増井香名子・岡本正子・岩本華子・浅野恭子・薬師寺順子・小川衛子・加藤良美・山内圭
4.「地縁組織の実態調査と地域共生社会政策における地域づくりへの問題提起 -愛知県知多市のコミュニティ会長インタビュー調査から」	共	2023年10月	知多半島の歴史と現在 27,1-19頁	（著者名）菊池遼・増井香名子・岡本一美・高山京子
5.「社会福祉の現在 女性福祉ー婦人保護事業とDV被害者支援のこれまでとこれからー」	単	2023年3月	福祉研究 116,88-92頁	（著者名）増井香名子 （概　要）婦人保護事業から困難女性支援法への転換の時期における女性福祉の現状とこれからについて論述を行った。 依頼論文
6.「児童相談所職員がDV と児童虐待が併存	共	2022年12月	司法福祉学研究 22,33-50頁(日本司	（著者名）増井香名子・岩本華子

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
するケースに対応する際の支援課題と工夫―職員に対するグループインタビューより」査読付			法福祉学会)	
7.「市配置の婦人相談員による若年女性に対する支援―フォーカスグループインタビュー調査結果より」査読付	共	2022年12月	司法福祉学研究 22,71-88頁(日本司法福祉学会)	(著者名) 岩本華子・増井香名子
8.「DV被害者である親が経験する子育ての実態～当事者インタビューの分析から児童福祉実践への示唆～」査読付	共	2022年2月	社会福祉学 62 (4),72-85頁	(著者名) 増井香名子・岩本華子
9.「DV被害者の心理と経験過程～共通性と支援の視点」	単	2021年9月	こころの科学 219,36-41頁(日本評論社	(著者名) 増井香名子
10.「DV被害者心理とソーシャルワークプロセスに基づく研修プログラム ～加害者と同居中の被害者の相談面接実践に焦点づけて～」	共	2020年7月	ソーシャルワーク研究 第46巻2号 pp.58-63頁 相川書房	(著者名) 増井香名子、山中京子、岩本華子 (概 要) 事例研究
11.「DV被害者である親への支援の重要性および親と子どもに対する支援の視点～支配のメカニズムの理解とストレングス視点～」	共	2020年3月	育療 (66),39-46頁 (日本育療学会)	(著者名) 増井香名子、岡本正子 (概 要) 【特集】社会福祉領域での子ども・家庭への支援
12.「母子生活支援施設における職員研修の実践とその効果～暴力被害等を経験した子どもと母への支援力向上に向けて～」	単	2020年2月	社會問題研究 69, 57-66頁(大阪府立大学)	(著者名) 増井香名子
13.「DV被害者の支援の視点：「ステージモデル」から理解を深める」	単	2019年2月	社會問題研究 68, 117-125頁(大阪府立大学)	(著者名) 増井香名子
14.「女性を保護支援する入所施設に対する利用者調査からみる施設の特性：レジデンシャル・ソーシャルワークの検討をめざして」	共	2019年2月	社會問題研究 68, 25-37頁(大阪府立大学)	(著者名) 増井香名子、岩本華子、山中京子
15.「女性支援における一時保護・入所施設利用の阻害要因に関する質的分析：市町村の相談担当者等へのヒヤリング調査結果より」	共	2019年2月	社會問題研究 68, 1-12頁(大阪府立大学)	(著者名) 山中京子、岩本華子、増井香名子
16.「市町村の女性相談	共	2019年2月	社會問題研究 68,	(著者名) 岩本華子、増井香名子、山中京子

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
窓口における支援の現状と課題：DVとDV以外の相談対応に着目して」			13-24頁(大阪府立大学)	
17.「DV被害経験からの「回復」と経験への意味づけ～当事者インタビューの分析からみえた心的外傷後成長（PTG)～」査読付	単	2017年8月	社会福祉学 58(2),55-66頁(日本社会福祉学会)	（著者名）増井香名子
18.「市配置の婦人相談員のDV被害者支援における役割：被害経験者に対するインタビュー調査をもとに」	共	2017年2月	社會問題研究 66,53-64頁(大阪府立大学)	（著者名）岩本華子、増井香名子、山中京子、児島亜紀子
19.「婦人相談所一時保護からみるDV被害者とその子どもの実態～社会的養護としてのDV被害母子の支援への視点～」査読付	共	2016年21月	子どもの虐待とネグレクト 17(3),400-407頁(日本子ども虐待防止学会)	（著者者）増井香名子、丸橋正子、加藤典子、岡本正子
20.「関係離脱後のDV被害者の生活再生プロセス～ソーシャルワーク支援の位置づけの必要性～」査読付	単	2016年8月	社会福祉学 57(2),29-42頁(日本社会福祉学会)	（著者名）増井香名子
21.「パワー転回行動：DV被害者が暴力関係から「脱却」する行動のプロセス～当事者インタビューの分析より～」査読付	単	2012年11月	社会福祉学 53(3),57-69頁(日本社会福祉学会)	（著者名）増井香名子
22.「認知症サポーター養成講座受講者における認知症受容度の追跡調査」査読	共	2011年8月	社会福祉学 52(２),94-106頁(日本社会福祉学会)	（著者名）増井香名子
23.「DV被害者は、いかにして暴力関係からの「脱却」を決意するのか～「決定的底打ち実感」に至るプロセスと「生き続けている自己」」査読付	単	2011年8月	社会福祉学 52(２),94-106頁(日本社会福祉学会)	（著者名）増井香名子
24.「地域における認知症の取り組み実践報告」	単	2011年3月	福祉の知 第13号 pp.101-110 (大阪府職員論文集)	（著者名）増井香名子
25.「認知症の人に対する地域住民の受容的態度とその関連要因」	共	2011年1月	社會問題研究 60,27-35頁(大阪府立大学)	（著者名）黒田研二、金高闇、鄭小華、増井香名子
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
２．学会発表				
３．総説				

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著書別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称	概要
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
６．研究費の取得状況				

学会及び社会における活動等	
年月日	事項